岩手県水産技術センター　**水産研究成果情報**　№32　平成１７年月１１日発行

アイナメ活魚化における産地構造問題

ね　ら　い	岩手県では、アイナメは沿岸域における重要な漁業資源となっており、刺網や延縄によって年間 120～150 ﾄﾝ漁獲されている。 アイナメの小型魚は中・大型魚の概ね半値で取り引きされ、さらに鮮魚は活魚の概ね半値で取り引きされていた。また、アイナメ市場は非常に強固な需要で成立していることが明らかとなっている。これらのことから活魚化の推進は重要であり、H16 年度は、生産現場における活魚化の課題について検討した。
成果の特徴	次の①～④の悪循環によって、岩手県産アイナメの(真の)活魚化の進展は阻害され、付加価値を半減化していることが分かった。①岩手県は活魚システムが不整備、②このため良質の活魚アイナメが水揚げされなくなり、③高価格が実現しないため、漁業生産者も活魚化に対する努力や技術向上を蔑ろにしてきた。④活魚が少ないので、活魚システムが構築されない。
成果の活用	これらのような課題を解決すべく、ある特定地区の漁業生産者・漁協及び漁連・県庁ともに実践的課題解決に向けて試験を行っている。その結果を基にして、普及員等を通じて他地区に普及を図る予定である。

［具体的データ］

表1　漁法別出荷形態別割合

	活魚	鮮魚	合計
刺網	14%	45%	59%
はえ縄･一本釣	25%	8%	33%
カゴ	4%	3%	7%
定置	0%	1%	1%
合計	43%	57%	100%

データ：1998～2002年平均値
注）上記漁法以外の漁法で全漁獲量の1%が漁獲されている。
資料：岩手県TACシステム

表2　漁法別価格　(円/kg)

	活魚	鮮魚	平均
刺網	1,188	799	893
はえ縄･一本釣	1,257	894	1,171
カゴ	1,141	818	1,001
定置	1,206	888	1,001
平均	1,224	814	1,097

データ：1998～2002年平均値
資料：岩手県TACシステム

表3　活魚運搬車登録台数　2004/3末（台）

	14年	15年	16年		14年	15年	16年		14年	15年	16年		14年	15年	16年
北海道	27	25	30	東京	75	74	70	滋賀	27	27	27	香川	121	115	112
青森	9	9	2	神奈川	121	114	105	京都	42	40	38	愛媛	278	286	289
岩手	-	-	-	山梨	6	7	8	大阪	179	171	158	高知	76	74	75
宮城	12	16	17	新潟	3	3	4	奈良	13	13	12	福岡	161	157	164
秋田	4	5	3	富山	2	2	2	和歌山	66	61	60	佐賀	142	144	147
山形	3	3	2	石川	17	16	14	兵庫	138	130	121	長崎	212	228	221
福島	8	8	8	長野	7	7	7	鳥取	5	4	5	熊本	183	179	169
茨城	10	8	8	福井	30	28	26	島根	11	9	10	大分	124	128	132
栃木	-	-	-	岐阜	3	4	3	岡山	42	40	39	宮崎	31	32	37
群馬	7	6	8	静岡	65	91	91	広島	42	39	37	鹿児島	86	83	83
埼玉	26	26	27	愛知	65	60	56	山口	61	65	66	沖縄	10	10	9
千葉	72	72	70	三重	275	261	259	徳島	20	20	18	全国	2947	2900	2855

資料：日刊水産経済新聞（2004/12/24）

担当者 連絡先	企画指導部　宮田主任専門研究員　℡0193-26-7914　FAX0193-26-7920 〒026-0001　岩手県釜石市大字平田第 3 地割 75 番 3 号 ホームページ　http://www.pref.iwate.jp/~hp5507/